

研究部の活動 2014年

今年の活動予定は、昨年とほぼ同じで、新・東京都産鳥類目録づくり、日比谷公園・自然教育園での調査、定例・特定調査、シンポジウム・月例会の開催、研究部レポート・鳥信、ホームページ・ブログなど盛りだくさんです。よろしくお願いいたします。

定例調査 越冬鳥調査・2014 ～カモ類・水鳥のカウント調査～

毎年1月の恒例は、「カモ類を中心としたカウント調査」の越冬鳥調査です。今冬は下記の要領で実施します。

1. 調査期間:2014年1月4日(土)～1月19日(日)
《前号記載から調査期間を上記に変更しました》
2. 調査地域:東京都内全域(島嶼・海上も含む)で、任意の場所を設定してください。
3. 調査対象種:2.の対象地域で認めた全種。



オカヨシガモの雌雄/川内 博氏撮影

- 特に、カモ類(ガン・ハクチョウ・カモ科)と次の水鳥10種〔カイツブリ・カワウ・ゴイサギ・ダイサギ・コサギ・アオサギ・バン・オオバン・ユリカモメ・カワセミ〕については、正確にカウントしてください。また、余力のある方はカモの性比の調査もお願いします。詳しくは囲みをご覧ください。
4. 調査結果報告:設定した調査地の範囲を示す地図(手書きで結構です)を添えて、メール・Fax・郵送で、日本野鳥の会東京・研究部あてに、1月31日(金)までにお送りください。性比の調査をされた方は、その結果は、バードリサーチへお送りください。
 5. 調査報告:本誌に発表します。
 6. 特定調査・ドバトの分布と数の調査にもご協力ください。(詳しくは前号13ページを)

NPO法人バードリサーチ カモ類の性比 東アジア・フライウェイ国際調査

■調査目的:カモ類、特に海ガモ類に顕著ですが、雌雄の比率がオスに偏っている傾向が見られます。北の方ではオスが多いと予想できるのですが、種や緯度による雌雄の偏りの差を明らかにすることが調査の目的です。 ■対象:カモ類全種 ■調査期間:2014年1月12日(日)を中心に、その前後1週間の範囲1月5日(日)～19日(日)。

■調査方法:いずれかの種のカモが100羽以上生息する湖沼を調査地として選んで下さい。100羽以下のカモ類も同時に記録して下さい。個体数の少ないオシドリ・ヨシガモ・オカヨシガモ・ハシビロガモ・アイサ類は100羽以下でもカウントお願いします。数が多すぎる場合はサンプル調査でも結構ですが、全数の大ざっぱな数も記して下さい。 ■報告方法:地名と位置(住所か緯経度)、種名、雌雄数をgankamo@bird-research.jpへメールを。形式は自由です。記録数が多いときは報告用Excelファイルをお使い下さい。 ■詳しくは下記へ

http://www.bird-research.jp/1_katsudo/waterbirds/gankamo/kamo-osu-mesu.html

速報!「東京のオオタカ」についてのシンポジウムを3月9日(日)に、立教大学(池袋)で開催を予定しています。興味のある方は研究部あてにご連絡ください。